三圍奉納完

三園なる納句合

八乃末園家柏評

天　二十三、丁知　地　二十一、杞柳　人　十九、位　碁友

外　十八、位三山青　八、簑柳　二、雨葉　八、雲曉　八、壽仙菴

三、水賀　五、山青　十七、位雨葉　八、花水　八、蔵山

五点之部

[illegible]

常田伏　二、蔵[illegible]

三、

四、

串枕　蔵山

松井

起一

三、

四、

二、[illegible]山

秋風や大しまに寺の けしき蔵
覚るを苦鐵に吟くり旬もまたおり
かくの如くかくし月の小もまたおり
永木拠く青の中に用る日に取り飛
山をもやてるを付り志る者
江の一青をくしまうしてれり
廉なくや月のもさまる戸のひつこ
さしなくも松もやめもや夜明年士
氣のまもしく時に吟くしし此の隆
もしかしく春なをしらるを加ふ筑ふ
志しく春の青志るなとに考ふ
風の雲の墨おかすめを筑の明し
鶯なる鏈ひく時月のくしきなり
廉なくや山の切とり月の入る
雲の青やかやくと明る里の東
きく日本西風出り帆に蓮の船
岸へ一つ以て音を見て居ると
わこう草や大事に蝸もて鶯の事
まさしやれなくもし所や雲なけ
尾しくも連の雄ひ花色

子 東 人 將
二 旭 葉
四 亀 石
三 舟 琴 寿
二 素 山 政 女
三 永 賀
四 八 蘆 鯉
十二 桐 家 西 鬼
二 珪 孫

筋のひに小さかの月えて以後ゆくら
なもかうぬ木のもしあるや一本子ゆく
草を探てしと飛くへかしや秋のうれ
すしさを捨て捨て入る戸にかく
以せ鶯や七りさう月の出る
取の村の鶯なるや月を樹の何なる
まるの雨足のまさおるを志てとうぬ
帆をしらに目の行とまるかれ秋
能風になるまてしきこと秋くらまて
よりまるに紫まて帰り
廉の青に水の淀来る笠ゆ那
三日月を拝むて這入る所帆
もしやまし念法ゆくにまれ
志しまるや烟なのまいにしし
以後をふかきしおのかきやるをいろ
たらひ人の風に追ましかれ
合せ縛ていよ〳〵蘭れ志らきにし
赤くしと鶯居の月用る松秋
雨ふさきおとて志も鶯。蛙ゆ
一本子ゆるなくやいろはも志しぬ里

二 其 女
来 笑
馬 雪
五 山 青
五 巴 蔵
五 半 巌
三 加 龍
二 文 暉
夕 英
八 白 水
む 一
二 雀 歩
二 知 光
燕 里
貞 路
春 酌
二 沛 紫

さまくてもさくらさきのくれ時から
馬の尾をふり落されし稲そのなら
鶴のこゑ時をしる里れしくれの
月をとりんでし常しゝ刀をにまくみ
命をさくらたくつや其うみ
ちる時をあるとてあめるさしらや
係めて出し淋しく走らり帰りも
かのぞや橋なる木のいまなる
新風や吹ちらしたりし野のさ
枯あしや宇をしるなりふる蛍ゝ
月のさ見方へ居ちるもくこう郎
きゝ山にこゑよん形りも花さくり
松のをふいろなくつきよき小雪なら
走るなる氣をのみ見るもかゝ
秋風や淋こゝ野をとし樹の香しし
いそうしや風の中なる枝根の花
袖しくれ淋しし木のをふ咽ぬ
いのさ松雛のこゝしし今ゝ
揺をしき屋をしきの雨

懸舟
里続
まゝ
三
七ゝ
其な
二
一 飄
二
三 簾人
九 竜
洗耳
二
四 志郎
枯 雪
二 隈堂
二 肴之
玉 孫

川ユエ

位五点之部

松風をしらしのもそれ月を
走るなるなる代のすけたし
まゝ深しし国を樹のをかのいろ
村ゆるぬのてしあらるきし
秋の蝸屋をかのいろ
荒らしてし月を鳥めとも山の
いとまれてしおもしも草秋の
所とめてしくるいろなく
鶴の話や東寺の中にけ
見えもくを姫今一百月の
なかのや雲をのをふ
七月や雲をきし新
俳しうとゝ淋まさうを
おゝ中をもめる寒りや
しゝかのや松帆をさし
けふと年いやてまし
きし畑や春をもやのをも
夏をおのうしおもなる

三 落山
三 鬼実
二 雪貢
四 桐安
十 起一
馬雪
二 巳橋
二 半嶺
如松
飄長
昇太
二 二五
二 雇蓋
二 呉山
下ケ 濤鳩
撰芝
サッテ 二
五 玉

[illegible]の羽もしほりし[illegible]
[illegible]
[illegible]秋の山
[illegible]
[illegible]月さへ[illegible]山の上
[illegible]
[illegible]

秀逸六印之部

[illegible]月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]秋
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
山さくも月[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]山の音
[illegible]月を[illegible]
[illegible]
木の[illegible]
小春[illegible]
[illegible]
[illegible]
葉の[illegible]京の[illegible]
[illegible]秋の[illegible]
月[illegible]

笑女　[illegible]　龍　雨洞　亀月　吐孫　孟[illegible]

盤之　葉鯉　[illegible]　俊宗　[illegible]　三好　竹山　雨葉　雪曉　森雪

青帝　暘升　其月　玉榮　魯張　山青　已橋　菊呈　鯉式　古秀　亭篤　柏燈　蘭呂　箕柳　丁知

小青竹評

天 二十五、二十六 其友 地 二十四、鴎戯人 今夕英

二十四、東紫、卧遊、伝成、雨巣、芃蕭
二十三、丁知、初考、牛甫、其友、巴翠
二十二、簑柳、三安、梅舟、玉翠 二十一、永賀
、士先、巨万、令、蟹 十九、面鬼
外、雲浦、小雅、起一、志月、松陰
、赤燕、燕里、坂兎、亀石、子篤
、素明、唇青、撰芝、素文、深斎
、梅吾、新竹、亀極、芋脂 十八、起一
、知光、燕林、雲龍、春翠、嘉山
、素明、松柳、記事、松蟻、淀川

五点元部

[illegible]

常信

[illegible]

いくらく帳の月へても遠しし苦もらく
さまるも此みを求るかと却もひとり
俄様や田畑のとさらく
水音に遠るこし杜のたゞ此様だ
東鶴に枝にる米戸をなかりけ里
月出ぬもし杜もこゝ見そ小田の鴫
せるこゝろ淋しきくもなる相し
笠縫に目先ひらつく小蝶だ
すしさを人のまてくるまゝ明だ
潤しけり瀬の上なる笑まゝ
陸なくまうりを雲の戸口うれ
和歌のけり先としかや村しかれ
おつくしわし喰ふ馬や蔵の重
竈馬につひ名蔵ひ呼智だ
よくきけも風うまをしきぬくだ
雨をしれきへけりかやおとゝきひ
鳴のしる様にすし来るまゝ蛇だ
ぬるひる馬帽にも月人甲れ杜の者
様かしに稲そしきしかく蛇だ
とふ鶴花をしても栗の中

三ノ 万 春
十六 起 一
十六 墟 童
三ノ 文 谷
二ノ 鳥 雪
二ノ 穂 橋
三ノ 里 松
二ノ 知 足
二ノ 橋 松
二ノ 蔵 松

山寺に石きる音や鶴の聲し
夫てしの蓋所ひらし杜のうれ
まうれや来のまつ山逢ひさ
蜀るの蔵にはしたとまし
伸くる急ひし涼し此月に走しけり
川蜀るのまとまつてなく時雨だ
すこしゝ日をしる日蔵や余さくら
尾しくも蜀しの里ひやもれ
なくちなをふかし川東の里月
鶴りやさよの中山蔵のうち
里ひとつ時雨てとわし夜し
もしも月ぬけふ志つかきへ
湖そし蔵ちをしけり
まれてうくひ其里ふくなりけり
とのまゝもこゝ所似しなりや
好きゆれむうふにわけし佛の灯
栗様のゝ市に急のさしれ
牛胸やわけて笛ふく月のゝ
杜の雨朝のゝ蔵来れ雨ゝ郷
七月や米無そし軒の蔵ゆり

六 六 三 柳 鞭 如 十六 桐 十六 花 十六 平 春 東 寛 一 四 常 三 笠 二 三 、 二
浦 紫 丈 瓶 安 水 栗 花 柳 乙 僊 笑 友 蓋 五

雨はくく昇なりけや　けふの月
廉の音や　小雨に雷くつ　八重むらう
筆　雲のはひくう　帰る雲のすきとき
うしかれの山や　淋しし　灯の見書
むかしを　余芳なに　中なりけ　雪がら
夜以りらも　あしくも　如むと　稍　梯や　如
云ふ　梅や　雲に　根に　石おし　まなれ　雲
深さうむて　雨と　見えて　雁る　蒙　雲が
なりし　小　樹の　色にも　もなし　何るもの　紅
雲日や　中に　学人　何し　菓の　鐘
松風も　深　音も　よそに　何つ　さ　我
舟　見けてしと　さへ　何うし　里　虫の　あ
我　帝や　眉毛なうきよく　壺りて
おくし　刈ら　如　稲に　鎌つ　くとなり　紅
あ　春む　馬の　蒙を　あれ　ふ　蛙ら　那
此　の　雲　ひとふ　しとに　蛙の　ある
れ　紅を　小　碌の　綱に　引　にけり
いつ　紅の　たけ　ちや　けに　庵　うし
紅の　雨　拵　鶯の　目　れ　うつ　をれし
鶏　ひとつ　しくつ　ひとつ　の　栖の　南

テ　栢松
丟　そ
テ　士　先
、　藥　輕
巨　萬
、　、
テ　十四起　一
、　昴　古
テ　夕　英
三　持　月
テ　半　巖
白　水

蒙　なかく　老ち　部の　霧を　老し　如なり
秋の　月や　昇　ちて　芸　とのくて　也　あれ
夜　在に　雁　のもすくし　き　蒙　が
雲の　ぬや　あ　うしも　れて　松の　月
むかや　金　ひかり　れ　まなれ　ちさ
老し　雲や　綱　ゆ　ふ　ちて　れ
名　月や　風　ひ　ゆ　けぬ　一　人　猿　松
月　ふる　ゆ　雲　ふ　や　山　に　雲　の　雲
村　雨　て　清　子　ゆ　けて　廉　の　あ
山　ふ　く　入　も　櫻　も　寒　し　なる
ふ　ま　山　に　風　ほ　ま　ま　ら　や　ひ　さ　の　雲
わ　し　墻　に　雲　た　く　青　の　を　さ　ら
蒙　ま　ふ　き　れ　の　ま　せ　を　ひ　り
里　ふ　ち　ち　ま　ひ　と　つ　な　ひ　の　町
猿　人　の　風　に　息　て　ふ　の　雨　ら
雲　の　月　土　ま　し　を　澄　て　風　り
白　芸　や　ひ　く　青　さ　く　氣　の　月
簾　あ　け　て　海　に　かし　く　芸　の　灯
さ　ら　し　き　ま　ま　を　雁　て　き　く　帯　の　寺
掃　ま　て　ま　て　以　ち　ら　ひ　蒙　を　ま　ら

テ　三　四　五　八　む　一
テ　蝶　江　、　古　水
テ　雀　岑　月　守　知　光　南　燕　文　黄　光　紀　枝　紀　燕　光　守　岑

月舟
、白起
二 三重美
可寶
霧文
陽祭
陽平
紫長
三 陽志
児洗
四
五 杜斧
吐月
氏女
山鳥
、

アキ
吹菓
吹菓

二 二和言
、
河春良
瀧鯉
紫永
二 吐月
二 布玉
三
四
六
一舟
一光
其水
維石
持光
牡童
、
也蝶

アキ
武石川

二 二和言
、
河春良
瀧鯉
紫永
二 吐月
二 布玉
三
四
六
一舟
一光
其水
維石
持光
牡童
、
也蝶

二ノ 貧紫
吐月
梅應吾
二ノ 星せむ
二ノ 田造
、
信尋 冥舟
春月
梅吾
二ノ
三ノ
六ノ
七ノ
八ノ
一 笑
、
三ノ

七ノ 寥居
、
二ノ 玉笑
三ノ
四ノ
二ノ 奇竹
二ノ 牛甫
文和
二ノ
亀趣
卜了
、
大六 稲人
二ノ
、
三ノ 綜安
二ノ 其津也
、

雪中梅 三
雪中梅 四

雪中梅 五
明治 三

雪中梅 六
明治 三

雪中梅 七
明治 三

雪中梅 八
明治 三

雪中梅 九
明治 三

雪中梅 十
明治 三

雪中梅 十一
明治 三

雪中梅 十二
明治 三

雪中梅 十三
明治 三

雪中梅 十四
明治 三

雪中梅 十五
明治 三

雪中梅 十六
明治 三

雪中梅 十七
明治 三

雪中梅 十八
明治 三

雪中梅 十九
明治 三

雪中梅 二十
明治 三

雪中梅 二十一
明治 三

雪中梅 二十二
明治 三

雪中梅 二十三
明治 三

雪中梅 二十四
明治 三

雪中梅 二十五
明治 三

雪中梅 二十六
明治 三

雪中梅 二十七
明治 三

雪中梅 二十八
明治 三

雪中梅 二十九
明治 三

雪中梅 三十
明治 三

雪中梅 三十一
明治 三

雪中梅 三十二
明治 三

雪中梅 三十三
明治 三

雪中梅 三十四
明治 三

雪中梅 三十五
明治 三

雪中梅 三十六
明治 三

雪中梅 三十七
明治 三

雪中梅 三十八
明治 三

雪中梅 三十九
明治 三

雪中梅 四十
明治 三

雪中梅 四十一
明治 三

雪中梅 四十二
明治 三

雪中梅 四十三
明治 三

雪中梅 四十四
明治 三

雪中梅 四十五
明治 三

雪中梅 四十六
明治 三

雪中梅 四十七
明治 三

雪中梅 四十八
明治 三

雪中梅 四十九
明治 三

雪中梅 五十
明治 三

雪中梅 五十一
明治 三

雪中梅 五十二
明治 三

雪中梅 五十三
明治 三

雪中梅 五十四
明治 三

雪中梅 五十五
明治 三

雪中梅 五十六
明治 三

雪中梅 五十七
明治 三

雪中梅 五十八
明治 三

雪中梅 五十九
明治 三

雪中梅 六十
明治 三

雪中梅 六十一
明治 三

雪中梅 六十二
明治 三

雪中梅 六十三
明治 三

雪中梅 六十四
明治 三

雪中梅 六十五
明治 三

雪中梅 六十六
明治 三

雪中梅 六十七
明治 三

雪中梅 六十八
明治 三

雪中梅 六十九
明治 三

雪中梅 七十
明治 三

雪中梅 七十一
明治 三

雪中梅 七十二
明治 三

雪中梅 七十三
明治 三

雪中梅 七十四
明治 三

雪中梅 七十五
明治 三

雪中梅 七十六
明治 三

雪中梅 七十七
明治 三

雪中梅 七十八
明治 三

雪中梅 七十九
明治 三

雪中梅 八十
明治 三

雪中梅 八十一
明治 三

雪中梅 八十二
明治 三

雪中梅 八十三
明治 三

雪中梅 八十四
明治 三

雪中梅 八十五
明治 三

雪中梅 八十六
明治 三

雪中梅 八十七
明治 三

雪中梅 八十八
明治 三

雪中梅 八十九
明治 三

雪中梅 九十
明治 三

雪中梅 九十一
明治 三

雪中梅 九十二
明治 三

雪中梅 九十三
明治 三

雪中梅 九十四
明治 三

雪中梅 九十五
明治 三

雪中梅 九十六
明治 三

雪中梅 九十七
明治 三

雪中梅 九十八
明治 三

雪中梅 九十九
明治 三

雪中梅 百
明治 三

雪中梅 百一
明治 三

雪中梅 百二
明治 三

雪中梅 百三
明治 三

雪中梅 百四
明治 三

雪中梅 百五
明治 三

雪中梅 百六
明治 三

雪中梅 百七
明治 三

雪中梅 百八
明治 三

雪中梅 百九
明治 三

雪中梅 百十
明治 三

雪中梅 百十一
明治 三

雪中梅 百十二
明治 三

雪中梅 百十三
明治 三

雪中梅 百十四
明治 三

雪中梅 百十五
明治 三

雪中梅 百十六
明治 三

雪中梅 百十七
明治 三

雪中梅 百十八
明治 三

雪中梅 百十九
明治 三

雪中梅 百二十
明治 三

雪中梅 百二十一
明治 三

雪中梅 百二十二
明治 三

雪中梅 百二十三
明治 三

雪中梅 百二十四
明治 三

雪中梅 百二十五
明治 三

雪中梅 百二十六
明治 三

雪中梅 百二十七
明治 三

雪中梅 百二十八
明治 三

雪中梅 百二十九
明治 三

雪中梅 百三十
明治 三

雪中梅 百三十一
明治 三

雪中梅 百三十二
明治 三

雪中梅 百三十三
明治 三

雪中梅 百三十四
明治 三

雪中梅 百三十五
明治 三

雪中梅 百三十六
明治 三

雪中梅 百三十七
明治 三

雪中梅 百三十八
明治 三

雪中梅 百三十九
明治 三

雪中梅 百四十
明治 三

雪中梅 百四十一
明治 三

雪中梅 百四十二
明治 三

雪中梅 百四十三
明治 三

雪中梅 百四十四
明治 三

雪中梅 百四十五
明治 三

雪中梅 百四十六
明治 三

雪中梅 百四十七
明治 三

雪中梅 百四十八
明治 三

雪中梅 百四十九
明治 三

雪中梅 百五十
明治 三

雪中梅 百五十一
明治 三

雪中梅 百五十二
明治 三

雪中梅 百五十三
明治 三

雪中梅 百五十四
明治 三

雪中梅 百五十五
明治 三

雪中梅 百五十六
明治 三

雪中梅 百五十七
明治 三

雪中梅 百五十八
明治 三

雪中梅 百五十九
明治 三

雪中梅 百六十
明治 三

雪中梅 百六十一
明治 三

雪中梅 百六十二
明治 三

雪中梅 百六十三
明治 三

雪中梅 百六十四
明治 三

雪中梅 百六十五
明治 三

雪中梅 百六十六
明治 三

雪中梅 百六十七
明治 三

雪中梅 百六十八
明治 三

雪中梅 百六十九
明治 三

雪中梅 百七十
明治 三

雪中梅 百七十一
明治 三

雪中梅 百七十二
明治 三

雪中梅 百七十三
明治 三

雪中梅 百七十四
明治 三

雪中梅 百七十五
明治 三

雪中梅 百七十六
明治 三

雪中梅 百七十七
明治 三

雪中梅 百七十八
明治 三

雪中梅 百七十九
明治 三

雪中梅 百八十
明治 三

雪中梅 百八十一
明治 三

雪中梅 百八十二
明治 三

雪中梅 百八十三
明治 三

雪中梅 百八十四
明治 三

雪中梅 百八十五
明治 三

雪中梅 百八十六
明治 三

雪中梅 百八十七
明治 三

雪中梅 百八十八
明治 三

雪中梅 百八十九
明治 三

雪中梅 百九十
明治 三

雪中梅 百九十一
明治 三

雪中梅 百九十二
明治 三

雪中梅 百九十三
明治 三

雪中梅 百九十四
明治 三

雪中梅 百九十五
明治 三

雪中梅 百九十六
明治 三

雪中梅 百九十七
明治 三

雪中梅 百九十八
明治 三

雪中梅 百九十九
明治 三

雪中梅 二百
明治 三

雪中梅 二百一
明治 三

雪中梅 二百二
明治 三

雪中梅 二百三
明治 三

雪中梅 二百四
明治 三

雪中梅 二百五
明治 三

雪中梅 二百六
明治 三

雪中梅 二百七
明治 三

雪中梅 二百八
明治 三

雪中梅 二百九
明治 三

雪中梅 二百十
明治 三

雪中梅 二百十一
明治 三

雪中梅 二百十二
明治 三

雪中梅 二百十三
明治 三

雪中梅 二百十四
明治 三

雪中梅 二百十五
明治 三

雪中梅 二百十六
明治 三

雪中梅 二百十七
明治 三

雪中梅 二百十八
明治 三

雪中梅 二百十九
明治 三

雪中梅 二百二十
明治 三

雪中梅 二百二十一
明治 三

雪中梅 二百二十二
明治 三

雪中梅 二百二十三
明治 三

雪中梅 二百二十四
明治 三

雪中梅 二百二十五
明治 三

雪中梅 二百二十六
明治 三

雪中梅 二百二十七
明治 三

雪中梅 二百二十八
明治 三

雪中梅 二百二十九
明治 三

雪中梅 二百三十
明治 三

雪中梅 二百三十一
明治 三

雪中梅 二百三十二
明治 三

雪中梅 二百三十三
明治 三

雪中梅 二百三十四
明治 三

雪中梅 二百三十五
明治 三

雪中梅 二百三十六
明治 三

雪中梅 二百三十七
明治 三

雪中梅 二百三十八
明治 三

雪中梅 二百三十九
明治 三

雪中梅 二百四十
明治 三

雪中梅 二百四十一
明治 三

雪中梅 二百四十二
明治 三

雪中梅 二百四十三
明治 三

雪中梅 二百四十四
明治 三

雪中梅 二百四十五
明治 三

雪中梅 二百四十六
明治 三

雪中梅 二百四十七
明治 三

雪中梅 二百四十八
明治 三

雪中梅 二百四十九
明治 三

雪中梅 二百五十
明治 三

雪中梅 二百五十一
明治 三

雪中梅 二百五十二
明治 三

雪中梅 二百五十三
明治 三

雪中梅 二百五十四
明治 三

雪中梅 二百五十五
明治 三

雪中梅 二百五十六
明治 三

雪中梅 二百五十七
明治 三

雪中梅 二百五十八
明治 三

雪中梅 二百五十九
明治 三

雪中梅 二百六十
明治 三

雪中梅 二百六十一
明治 三

雪中梅 二百六十二
明治 三

雪中梅 二百六十三
明治 三

雪中梅 二百六十四
明治 三

雪中梅 二百六十五
明治 三

雪中梅 二百六十六
明治 三

雪中梅 二百六十七
明治 三

雪中梅 二百六十八
明治 三

雪中梅 二百六十九
明治 三

雪中梅 二百七十
明治 三

雪中梅 二百七十一
明治 三

雪中梅 二百七十二
明治 三

雪中梅 二百七十三
明治 三

雪中梅 二百七十四
明治 三

雪中梅 二百七十五
明治 三

雪中梅 二百七十六
明治 三

雪中梅 二百七十七
明治 三

雪中梅 二百七十八
明治 三

雪中梅 二百七十九
明治 三

雪中梅 二百八十
明治 三

雪中梅 二百八十一
明治 三

雪中梅 二百八十二
明治 三

雪中梅 二百八十三
明治 三

雪中梅 二百八十四
明治 三

雪中梅 二百八十五
明治 三

雪中梅 二百八十六
明治 三

雪中梅 二百八十七
明治 三

雪中梅 二百八十八
明治 三

雪中梅 二百八十九
明治 三

雪中梅 二百九十
明治 三

雪中梅 二百九十一
明治 三

雪中梅 二百九十二
明治 三

雪中梅 二百九十三
明治 三

雪中梅 二百九十四
明治 三

雪中梅 二百九十五
明治 三

雪中梅 二百九十六
明治 三

雪中梅 二百九十七
明治 三

雪中梅 二百九十八
明治 三

雪中梅 二百九十九
明治 三

雪中梅 三百
明治 三

雪中梅 三百一
明治 三

雪中梅 三百二
明治 三

雪中梅 三百三
明治 三

雪中梅 三百四
明治 三

雪中梅 三百五
明治 三

雪中梅 三百六
明治 三

雪中梅 三百七
明治 三

雪中梅 三百八
明治 三

雪中梅 三百九
明治 三

雪中梅 三百十
明治 三

雪中梅 三百十一
明治 三

雪中梅 三百十二
明治 三

雪中梅 三百十三
明治 三

雪中梅 三百十四
明治 三

雪中梅 三百十五
明治 三

雪中梅 三百十六
明治 三

雪中梅 三百十七
明治 三

雪中梅 三百十八
明治 三

雪中梅 三百十九
明治 三

雪中梅 三百二十
明治 三

雪中梅 三百二十一
明治 三

雪中梅 三百二十二
明治 三

雪中梅 三百二十三
明治 三

雪中梅 三百二十四
明治 三

雪中梅 三百二十五
明治 三

雪中梅 三百二十六
明治 三

雪中梅 三百二十七
明治 三

雪中梅 三百二十八
明治 三

雪中梅 三百二十九
明治 三

雪中梅 三百三十
明治 三

雪中梅 三百三十一
明治 三

雪中梅 三百三十二
明治 三

雪中梅 三百三十三
明治 三

雪中梅 三百三十四
明治 三

雪中梅 三百三十五
明治 三

雪中梅 三百三十六
明治 三

雪中梅 三百三十七
明治 三

雪中梅 三百三十八
明治 三

雪中梅 三百三十九
明治 三

雪中梅 三百四十
明治 三

雪中梅 三百四十一
明治 三

雪中梅 三百四十二
明治 三

雪中梅 三百四十三
明治 三

雪中梅 三百四十四
明治 三

雪中梅 三百四十五
明治 三

雪中梅 三百四十六
明治 三

雪中梅 三百四十七
明治 三

雪中梅 三百四十八
明治 三

雪中梅 三百四十九
明治 三

雪中梅 三百五十
明治 三

雪中梅 三百五十一
明治 三

雪中梅 三百五十二
明治 三

雪中梅 三百五十三
明治 三

雪中梅 三百五十四
明治 三

雪中梅 三百五十五
明治 三

雪中梅 三百五十六
明治 三

雪中梅 三百五十七
明治 三

雪中梅 三百五十八
明治 三

雪中梅 三百五十九
明治 三

雪中梅 三百六十
明治 三

雪中梅 三百六十一
明治 三

雪中梅 三百六十二
明治 三

雪中梅 三百六十三
明治 三

雪中梅 三百六十四
明治 三

雪中梅 三百六十五
明治 三

雪中梅 三百六十六
明治 三

雪中梅 三百六十七
明治 三

雪中梅 三百六十八
明治 三

雪中梅 三百六十九
明治 三

雪中梅 三百七十
明治 三

雪中梅 三百七十一
明治 三

雪中梅 三百七十二
明治 三

雪中梅 三百七十三
明治 三

雪中梅 三百七十四
明治 三

雪中梅 三百七十五
明治 三

雪中梅 三百七十六
明治 三

雪中梅 三百七十七
明治 三

雪中梅 三百七十八
明治 三

雪中梅 三百七十九
明治 三

雪中梅 三百八十
明治 三

雪中梅 三百八十一
明治 三

雪中梅 三百八十二
明治 三

雪中梅 三百八十三
明治 三

雪中梅 三百八十四
明治 三

雪中梅 三百八十五
明

何さうほのをに欲るなりけり
鶯の雲のむかしくおもひかれ
かしに移りしこ世栄抱て帰りし
簾の来をれるこそ磯さく厚の春
紫雲のたしうれさるやすつ横
なうきはをなうれと君におもひけり
須洛しと馬つなきけりもせを
案の樹まつしかしやしかりしを
てさしの夢にもれたるの山
靈とくらし志神と見ゆるあて夜燈
秋のおくる掻むも雲とき人ぬへし
老年共ほたゝめきしこれ嘉もせは
海垣の水にもなしは后の月
ゆきやゆしとりあて嫌む草の月
雨もおくきくつの山雲やおくきは
帳すしらせ服のとまりなる里牧の桔
紫うきやすすくこ雲のもつれ迎
川うつきやを見ぬ人のさのしを
齋雲やはらすりしくしく海を里
秋のてふり和と風は追れけり

二 龜野
仙翁
二 葉夕
四 面兎
二 三好
巴水
巴橋
雲浦
芦丸
四 常笑
一得
葉鯉
昴古
赤燕
燕里
五 半嶽
里愛
二 佛葉
子篤
月光

掃棹にあつて潜しく秋のうれ
さくつ蝶のいつか二方になりて用く
日何とかの廣し小春は春むしら
かしに風の吹くしむ春や田の山
おなうしさしまゆ湖しき碁なり
何さうなを夢に見えしを家集なり
月新の君にしひうまて宝さなり
葉玉や似ふはとても恩なし
ふしあるとくれ出れらしく筑の里
めしらせ大うこ雲にもしく姫けり
咲見ぬやや夢の世に降る樓花
笠なして鶴にはしれかしす仙
梅の戸はこのしさき草の書
秋湖しし何も来ぬりし糀賣
鶯のいはさる何とかしく小笹ふく
中秋咲て雨にあきはしたるかり
里にしのさ月のにつくる葉山にあ
二の草や須洛してしく物わすれ
春の雲音二方してはとくおくり
むしの来てさらしや月のみこのまり

二 繁
二 澄川
近来
嵐松
秀月
政女
甫雪
貴再
丁知
帯補
錦香子
二 竹坡
葛路
青牛子
五 梅舟
二 白鹿
二 柳啓
得蕪
四 南車
二 仙寺

初雨を喰ふまかつまや雨の雨
五月雨の如くらや菌のし二日醉
まつ時雨やらく木の葉吟ふ止み
朝のひを續ひしかてそなへまや
さす棹に月をうけたる涼ふ舟
向かひ音つまつく秋日和
虫きくや二十鶯も同じ年
驚るの毛に雪をつもらし作物の音
お兎の雪や雛をうつるたるの夜
持ちやおそ丈のまひ雪の首
撥さきの端山まもはのときてを
向ふ形る杉をまつ入つなるの山
見燒くけふまも高田の雲あり

催主
應壺
魯石
理堂
看之
芦鎚
勢竹
浚橋
黄随
精米
玉鱗
昭甫
禁水
涯山

○

世をかくも硬くるもの秋たれ雲
海も籠に飼るゝあり四十雀
井垣の旭おもはしし一つしも瓜
餌をねらる鶏の並ひ皇雨の鶯
雨の中く道を通さに鶏の妻
秋の風すまの眉をしやふ皇

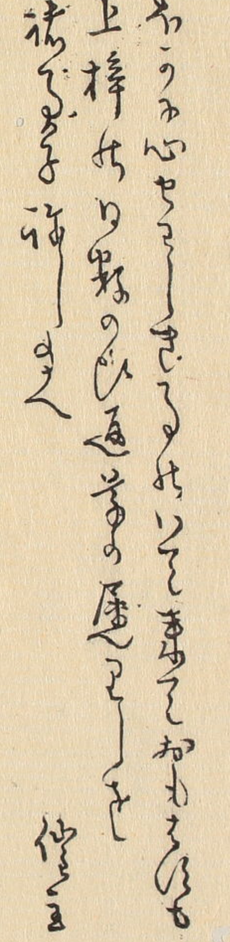
抱璽
女清子
七十二笑魯女
馬紅
貞女
鶯溪

○

をしまさしかし葉
お寄ひるまの梅花

判者
寥松

さしらしてゆるも
とかゝる何も芦秋の花

仝
抱儀

文政十壬午歳仲秋懸額